

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

慢性肝障害患者における非代償性肝硬変への進展、及び慢性肝不全の急性増悪（Acute-on-chronic liver failure）に関わる因子の解析（多施設共同研究）

【目的】

持続する慢性肝障害は徐々に代償性肝硬変へ進行し、一部の患者さんにおいて、非代償性肝硬変や慢性肝不全に移行します。また、肝硬変が肝細胞がん発癌の重要なリスク因子でもあります。現在のところ、非代償性肝硬変や慢性肝不全に有効な治療法は「肝移植」以外に存在せず、どのような因子が慢性肝障害を有する患者さんの肝機能維持・肝細胞がんの発生進展に影響するかは、解明されていません。そこで本研究では、慢性肝障害の症例を集積し、肝機能の非代償化及び慢性肝不全の急性増悪に関わる因子を解明することを目的としています。

【対象】

2012年1月～2023年3月31日までの間に、当院消化器内科にて慢性肝疾患の診断および治療のため入院もしくは通院し、診療を受けた方

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、調査票へ入力します。入力したデータは研究事務局（慶應義塾大学医学部内科学（消化器））へメールにて送信され、保管されます。その後、研究代表者や統計解析担当者によって解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（年齢、性別、身長、体重、既往歴、臨床検査値、画像所見、病理診断結果、治療歴、治療経過 等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから 2023年3月31日まで

【研究代表者】

慶應義塾大学医学部 内科学（消化器） 中本 伸宏

【共同研究機関】

慶應義塾大学病院、稲城市立病院、永寿総合病院、川崎市立井田病院、川崎市立川崎病院、北里研究所病院
けいゆう病院、国家公務員共済組合連合会 立川病院、埼玉社会保険病院、佐野厚生総合病院
東京歯科大学市川総合病院、東京都済生会中央病院、独立行政法人 国立病院機構 霞ヶ浦医療センター
独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院、独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター、済生会宇都宮病院
日野市立病院、日本鋼管病院、平塚市民病院、水戸赤十字病院、横浜市立市民病院、荻窪病院、江戸川病院
東海大学東京病院、東海大学八王子病院、防衛医科大学校、大船中央病院、国際福祉大学三田病院

【当院の研究責任者】

消化器内科 小松 弘一

横浜市立市民病院 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56

電話 045-331-1961（病院代表） 消化器内科 小松 弘一

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。